１　研究主題

自ら学び自ら考える児童の育成

～国語科における主体的に学ぶための指導方法の工夫～

２　主題設定の理由

近年，グローバル化や人工知能の飛躍的な進化など，社会の加速度的な変化が人間の予測を超えて進展している。このような社会において，予測できないような事態に遭遇しても，受動的に対処するのではなく，主体的に向き合い，他者とかかわり合いながら問題解決を図っていく人材が求められている。このような中，「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした「アクティブ・ラーニング」の視点から授業改善の取組が提起されている。そこで，教師一人一人が，子どもたちの発達の段階や特性，教育的ニーズを把握し，各教科等で習得した様々な知識・技能を関連付けながら，子どもが主体的に課題を解決していく探究活動を仕組んだ指導方法の工夫（授業改善）が重要である。

本校では，昨年度まで子どもたちが学びの目的や学習の必要性を意識して取り組むことができるような授業スタイル（「春日っ子授業スタイル」）を全職員が共通理解し，実践を積み重ね，教師自身が授業力の向上を図ってきた。その中でも特に国語科においては，１単位時間における話し合いのテーマ（「お題」）を設定し，主体的に読んだり対話したりしながら，考えを深めさせてきた。平成30年度の学習状況調査の結果からみると「読むこと」領域においてある程度の成果が表れてきている。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習状況調査（佐賀県平均と比べて） | 4月 | 12月 |
| 5年生 | 0.90 | 1.01 |
| 6年生 | 1.13 | 1.19 |

しかし，教師に対するアンケートでは，自ら課題を立てて解決しようとする児童や課題に対して粘り強く取り組んだりする児童は少なく，指示待ち傾向が強い児童が多いということが分かった。また、児童に対するアンケートでも，「国語の勉強は好きだ。」「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だと思う。」「授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。」などの項目では、佐賀県平均より大幅に下回っており，自分から積極的に課題に対して取り組んだり，文章を読んで理解したことなどに基づいて，自分の考えを形成し，友だちと意見や考えを共有しながら，自分の考えを広げたり深めたりすることが苦手な児童が多いことが分かった。

　　そこで，子どもが自ら課題に向かい，自分の考えをもち，その考えを積極的に友だちと共有しながら，考えを広げていけるような授業実践を進めていく。特に国語科「読むこと」において，学習課題や友だちとの対話や考えを書くなどの言語活動を工夫することで児童が主体的に自分の読みを形成する授業づくりをめざし、本主題を設定した。

３　研究の目標

子どもが自ら学び，課題に対し自ら考えて読む授業の在り方を探る。

４　研究の視点

　　・解決意欲や必要感をもたせた学習課題の工夫（視点１）

　　・個々の読みを広げたり深めたりできる意図的な対話活動の充実（視点２）

　　・自分の考えを書く活動の場の設定（視点３）

５　研究の方法

（１）授業研究会を実施し，研究を充実させる。

　　　①全校授業研究会（講師を招聘し，全員で授業研究会を行う）

　　　　・高学年部会，中学年部会，低学年部会から1学級ずつ

　　　②グループ授業研究会（各学年部会で授業研究会を行う）

　　　　・高学年部会，中学年部会，低学年部会で全校授業研究会を行わない学年から1学級ずつ

　　　　・特別支援学級，級外は，実態に応じたスタイルでグループ授業研究会を行う。

　　　③学年授業参観（各学年で授業を公開する，授業研究会は行わない）

　　　　・全校授業研究会やグループ授業研究会を行わない学級

　（２）理論と具体的な授業実践のために講師を招聘し，研究を深める。

６　研究の構想

学校教育目標

自分から考え　すなおに　がんばる　春日っ子

めざす子ども像

考える子ども　すなおな子ども　がんばる子ども

（確かな学力）　　（豊かな人間性）　 （心身の健康・体力）

**自ら学び自ら考える児童の育成**

**～国語科における主体的に学ぶための指導方法の工夫～**

自ら学ぶ子どもが育つ学習指導の在り方を探る

～「春日っ子授業スタイル」の授業づくりを通して～

研究の目標

子どもが自ら学び，課題に対し自ら考える授業の在り方を探る。

書く活動の場の設定

学習課題の工夫

対話活動の充実

春日っ子授業スタイル

児童の実態

９　研究の組織

［研究推進委員会］…校内研究の企画，校内研究の提案等について検討・調整

　［研究主任］…校内研究の企画や提案及び研究の計画と推進，各部の調整

［全　体　会］…全体の理論研究，各部会の研究内容について協議

　　［学年部会］…指導計画等の作成や授業計画の推進・交流　☆級外，特支は各学年に所属

10　各学年部員（○は思考と未来部）

　　　低学年部…○坂田，山口，武藤，○東島，德永，○三好，校長，江口な，梅﨑

　　　中学年部…貞松，○瀬戸，原口，小山，○江口さ，坂井，○於保，教頭，大野

　　　高学年部…○冨吉，水町，永松，堤，徳瀬，○江頭，山城，行武，宮島，國平，末吉

11　研究の計画

　　１年次…研究主題と研究の目標を設定し，授業実践を通して加除修正する。

（視点１を中心に取り組む）

　　２年次…１年次の成果と課題を基に，研究の目標の観点から視点を見直す。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（視点３を中心に取り組む）

　　３年次…2年次の成果と課題を基に，研究の目標の観点から視点を見直し，まとめる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（視点２を中心に取り組む）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月 | 研究会 | 研究内容 |
| ４ | 研究推進委員会 | 研究主題・研究目標及び研究内容と方法についての検討 |
| ５ | 研究推進委員会  全体会 | 本年度の研究の方向性の共通理解  研究主題・研究目標及び研究内容と方法についての概要説明  本年度の研究の方向性の共通理解，年間研究計画  授業者決定・単元決定　　　1学期の研修計画 |
| ６ | 学年部会  全体会 | 研究内容について計画・検討  提案授業　三好智恵  講師　嬉野市立吉田小学校長　坂元俊文先生 |
| ７ | 研究推進委員会 | 1学期の研究についての成果や課題を出し合う。 |
| ８ | 全体会 | 学年ごとに日々の取り組みや２学期以降の授業の在り方について共通理解を図る。 |
| ９ | 学年部会 | 研究内容についての計画・検討  ※グループ授業研究会Ⅰ |
| 10 | 全体会 | ※全校授業研究会Ⅰ（○学年）  ※全校授業研究会Ⅱ（○学年）  ※グループ授業研究会Ⅱ |
| 11 | 全体会 | ※全校授業研究会Ⅲ（○学年）  　※グループ授業研究会Ⅲ |
| 12 | 研究推進委員会 | 研究紀要についての提案・検討 |
| １ | 全体会  学年部会 | 研究紀要提案・検討  研究紀要作成 |
| ２ | 全体会  研究推進委員会 | 研究の成果と課題  次年度の研究の方向性についての検討 |
| ３ |  |  |